

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名【新】原油価格・物価高騰対応製品試作開発事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 地方大学・地域産業創生推進係 電話番号：058-272-1111(内3099)

E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 30,214 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	30,214	0	0	0	0	0	0	0	30,214
決定額	30,214	30,214	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内中小企業(製造業)では、かねてよりコスト削減に向けた生産の効率化などに取り組んでいるが、昨今の原油価格・物価高騰等の影響により、極めて厳しい経営状況に置かれている。

このような状況を踏まえ、県内中小企業が取り組む部材・製品の材料代替や生産プロセスの見直しなどに資する様々な支援を展開し、県内中小企業の収益力・競争力の維持・強化を図る。

(2) 事業内容

- ・原油価格・物価高騰対応製品試作開発事業費補助金(30,000千円)

原油価格・物価高騰の影響を受ける県内中小企業の材料代替や製造プロセスの高効率化による競争力の維持・強化、部材・製品の付加価値化による新分野展開を支援するため、代替材料や新たな製造プロセスを活用した部材・製品の試作に係る経費の一部(消耗品費、評価費用等)を助成する。

<補助制度の概要>

【補助対象者】 県内中小企業

【補助率】 2/3

【補助上限額】 1,000千円

- ・原油価格・物価高騰対応製品試作開発事業費(214千円)
補助事業を運営するための事務局経費を計上する。

(3) 県負担・補助率の考え方

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策と同等の県負担・補助率

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
事務局経費	214	報償費、旅費、役務費等
補助金	30,000	代替材料による試作に対する補助(消耗品費、検査費等) 1,000千円×30件(補助率2/3、上限1,000千円)
合計	30,214	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

原油価格・物価高騰等総合緊急対策 等

(2) 事業主体及びその妥当性

県事業で実施

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	原油価格・物価高騰対応製品試作開発事業費補助金
補助事業者（団体）	県内中小製造業 (理由) 原油価格・物価高騰の影響等を受け活動停滞を余儀なくされた 県内中小企業を支援するため
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定率 (内容) 2/3以内 (理由) 緊急経済対策として県内中小企業の代替材料による 試作に要する経費の一部を補助するため
補助効果	県内中小企業の収益力・競争力の維持・強化
終期の設定	終期 令和5年度 (理由) 年度途中から事業実施であることに加え、県内中小 企業における成果が得るには一定程度の期間が必要であるため

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>県内中小企業において、代替材料や新たな製造プロセスを活用した部材・製品の試作により新たな製品を開発</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
① 補助対象件数	0	-	-	30	30	-

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	-	-	-

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	原油価格・物価高騰の影響等を受け活動停滞を余儀なくされた県内中小企業を支援することは県内産業の振興のために必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	事業主体への助成という実施方法により、主体性を保つとともに業務の効率化を図り迅速な事業実施に繋げる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
